

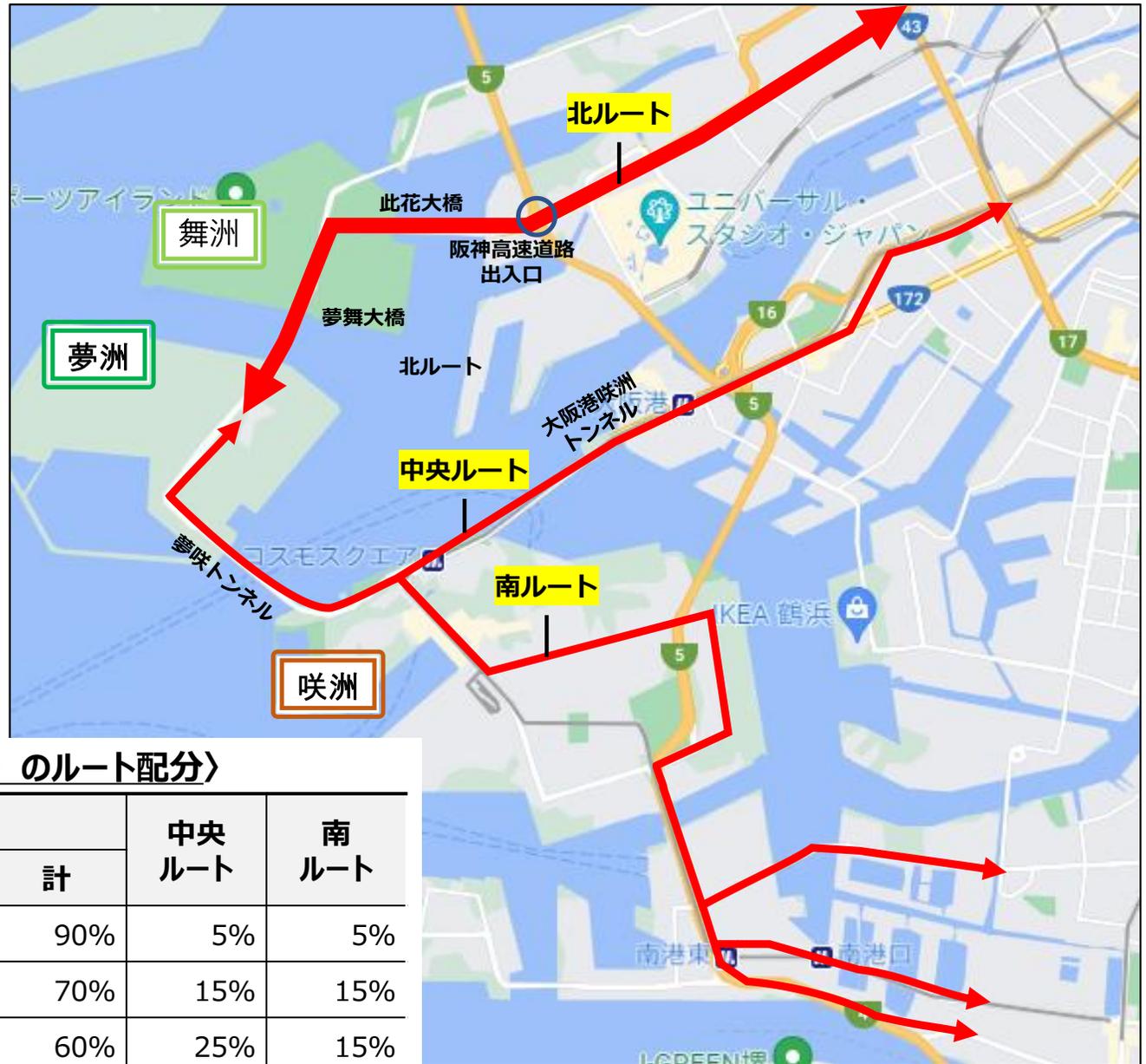
# 夢洲関連事業における工事車両の 円滑な運行について

令和5年10月20日  
大阪市建設局



# 万博工事期間中の工事車両の影響検討について

# ■ 工事車両の通行ルートについて



〈工事車両（万博・IR・インフラ）のルート配分〉

	北ルート			中央 ルート	南 ルート
	高速	一般道	計		
万博	50%	40%	90%	5%	5%
IR	30%	40%	70%	15%	15%
インフラ	12%	48%	60%	25%	15%

※事業者ヒアリングをもとにルート配分を設定

# ■万博「工事期間中」における工事車両の影響検討について

## 1. シミュレーション方法

- 工事車両の台数が変動するため、**各事業の1日当たりの工事車両台数の合計が最大となる月を把握。**
- 各事業の工事車両台数の合計が、最も大きくなる**令和6年10月時点**において、**各ルート上にあるボトルネックとなる交差点における時間帯ごとの交通容量を算出**し、一般車両を含めた通行車両台数が道路交通容量以下に収まっているか確認。

## 2. シミュレーション前提条件

### 〈月ごとのピーク日の車両台数〉

- **工事車両（万博・IR・インフラ）**  
⇒各事業者により月ごとのピーク日の工事車両台数を算出
- **一般交通（大型、小型）**  
※一般大型には、**物流交通（コンテナ車）及び通過交通の大型車を含む**  
⇒物流車両：
  - ・2025年度までの伸び率を考慮した約11,200台/日
  - ・咲洲シフト（空コンシフト、本船シフト）は考慮しない通過交通：
  - ・2021年10月の博覧会協会調査の交通量調査結果を反映⇒全ての車両を陸上輸送として想定（海上輸送は未考慮）

### 〈工程の万博アセス時点からの見直し〉

#### 【万博】

対象施設【協会発注外工事】	着手時期の見直し
● 日本館、大阪館、企業館	R5.10 → R5.9
● パビリオンA※	R5.10 → R6.5
● 展示工事（タイプA）	R6.10 → R7.1

対象施設【協会発注工事】	着手時期の見直し
● 協会発注4工区工事	変更なし
● 協会4工区以外① （テーマ館、大催事場、小催事場、迎賓館）	R5.4 → R5.11
● 協会4工区以外② （土木・施設工事）	変更なし
● 展示工事（タイプB、C）	変更なし

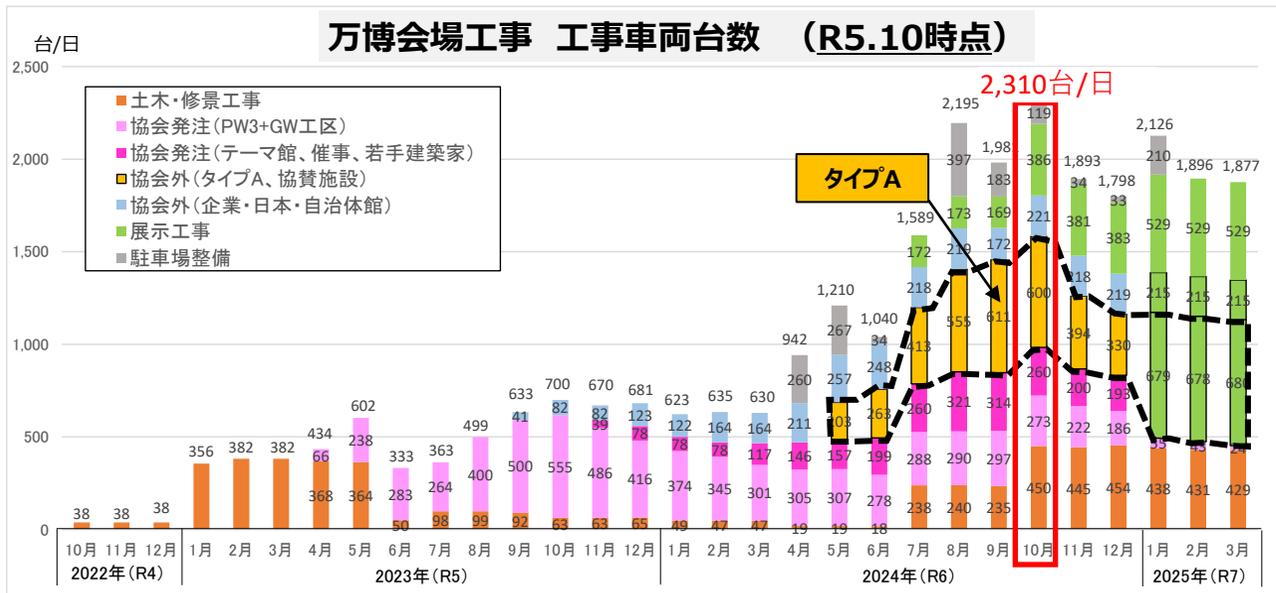
※タイプAの鉄骨調達の遅れを考慮

【IR】：R5.7 → R5.12

【インフラ】：変更なし

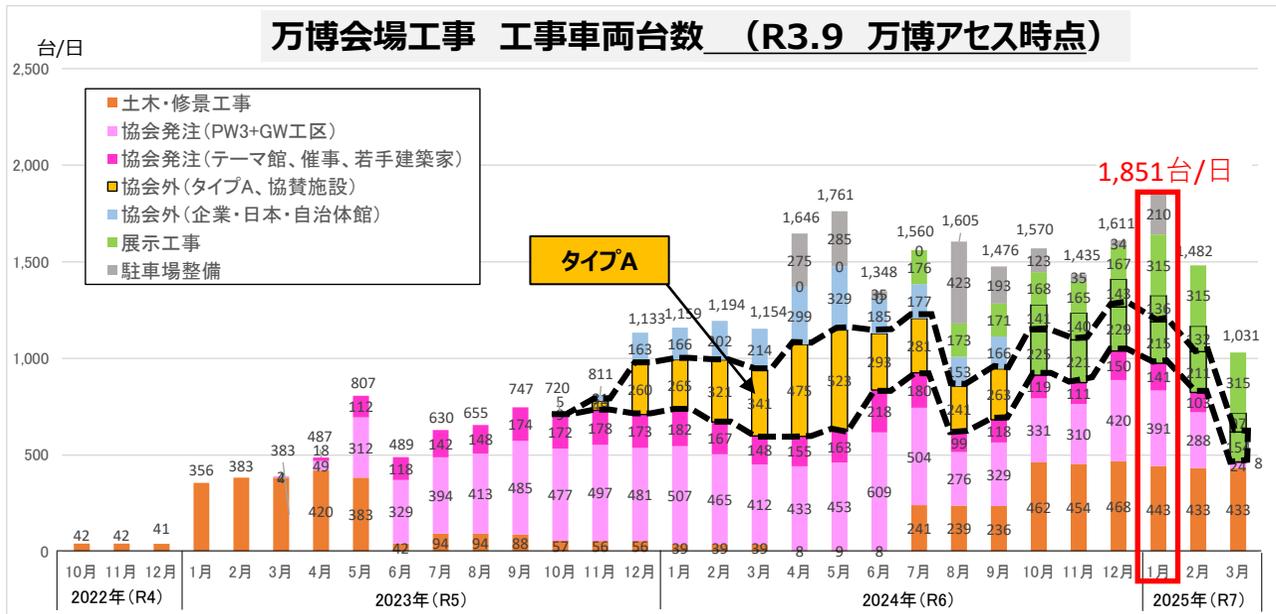


# ■万博工事期間中における工事車両の影響検討について（万博工事車両内訳）



※      工事車両のピーク台数

- ・博覧会協会より提供
- ・すべて陸上輸送を想定
- ・タイプXへの切り替えは想定せず全てタイプAと想定、鉄骨調達の遅れを1ヵ月想定
- ・万博会場整備の工程等をふまえ随時見直していく



# ■万博「工事期間中」における工事車両の影響検討について

## 3. シミュレーション結果

夢洲周辺の各ボトルネック交差点での交通容量に対する通行車両想定（工事・物流含む）の割合は約69～90%であり、**夢洲外から会場に至るルートでは渋滞は発生しない見込み**

※引き続き、随時パビリオン工程を確認し、工事車両想定台数の見直しを実施

最も厳しい「(2)夢舞大橋→此花大橋」の9時台において、  
容量3,092pcu/hに対し、通行台数2,240pcu/h（72%）

※PCUとは、乗用車換算台数であり、大型車（工事車両含む）は2倍となる

最も厳しい10時台において、  
容量2,150pcu/hに対し、通行台数1,487pcu/h（69%）

最も厳しい「(1)此花大橋→夢舞大橋」の9時台において、  
容量1,992pcu/hに対し、通行台数1,530pcu/h（77%）

最も厳しい9時台において、  
容量1,700pcu/hに対し、通行台数1,395pcu/h（82%）

最も厳しい「(1)咲洲→夢舞大橋」の14時台において、  
容量2,363pcu/hに対し、通行台数1,655pcu/h（70%）

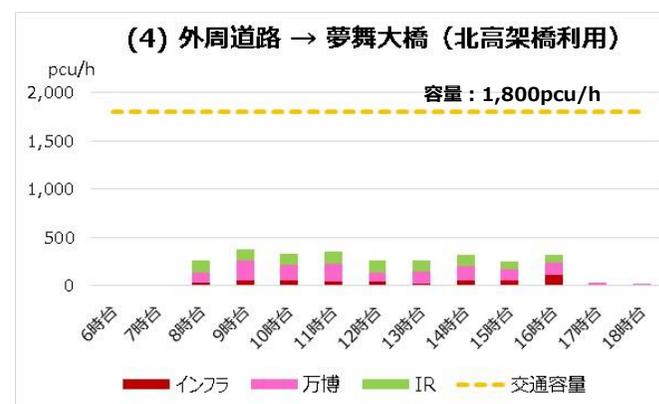
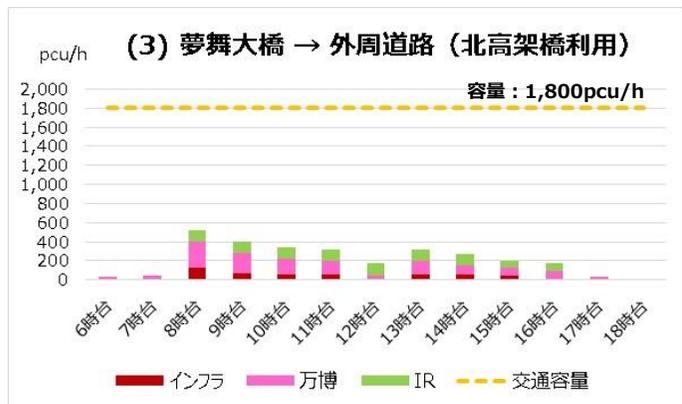
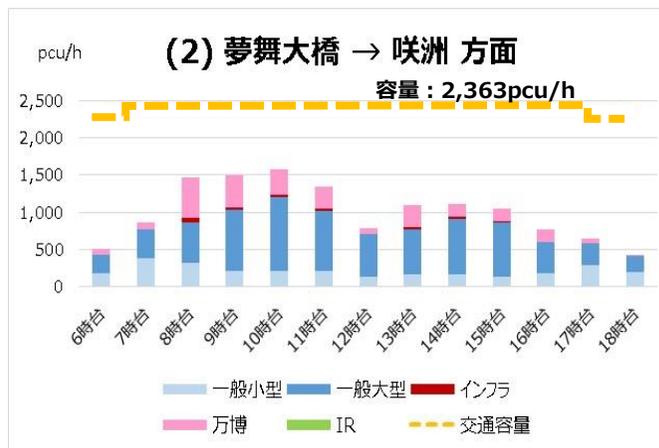
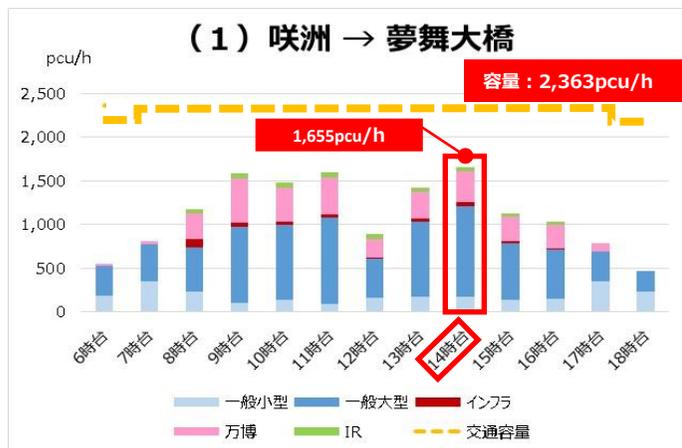
最も厳しい「(2)夢洲→咲洲」の14時台において、  
容量1,780pcu/hに対し、通行台数1,605pcu/h（90%）



## ① 夢舞大橋南詰交差点 交通影響の想定 (R6.10時点)

※      : 交通量の最も多い時間帯

- ▶ (仮称) 夢洲北高架橋はR6年10月より工事車両への供用開始を予定しており、交通量・容量は高架橋の通行を想定  
 ※工事の円滑通行のため整備を前倒し (R6.12⇒R6.9) : 「4-11頁参照」
- ▶ 北ルートを通行する万博工事車両の1/3が北高架橋を通行 (万博出入口の3箇所のうち、1箇所を利用する車両が北高架橋を通行)
- ▶ 万博出入口の増設後 (3箇所→6箇所) は、観光外周道路沿いの出入口が3箇所となり、工事車両の北高架橋通行が増加
- ▶ 北ルートを通行するIR工事車両は北高架橋を通行

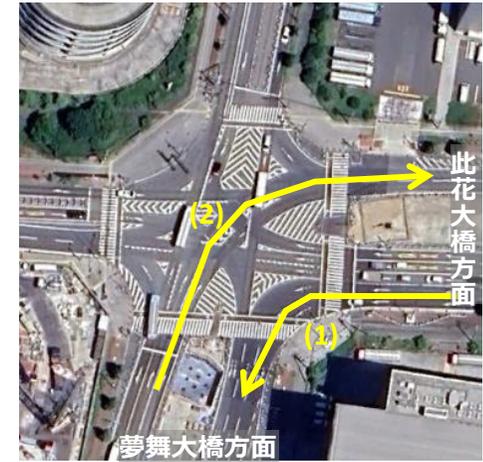
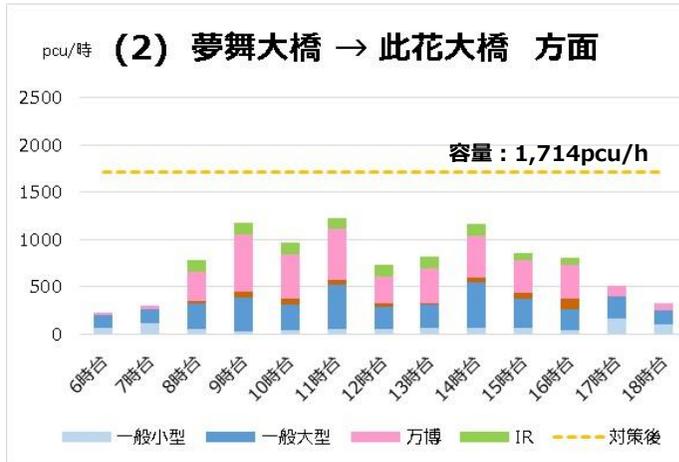
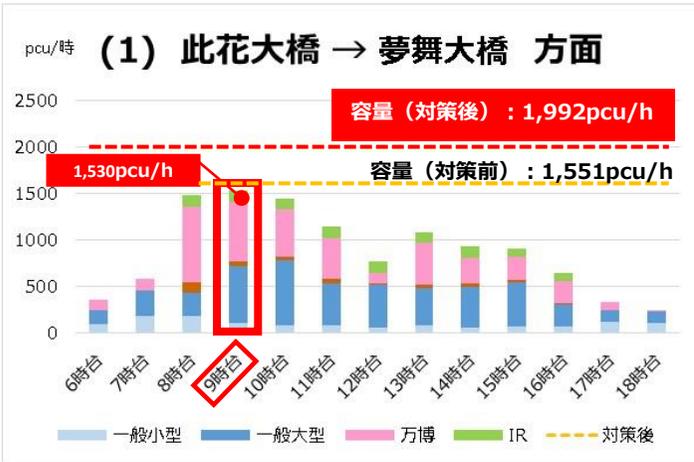


※ グラフに示す交通容量の変化は、信号の青時間の秒数変化によるもの

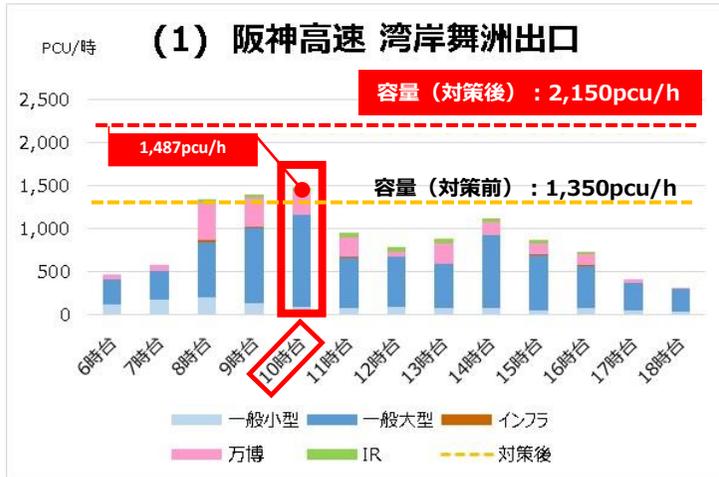
## ② 舞洲東交差点 交通影響の想定 (R6.10時点)

※    交通量の最も多い時間帯

舞洲東交差点 位置図



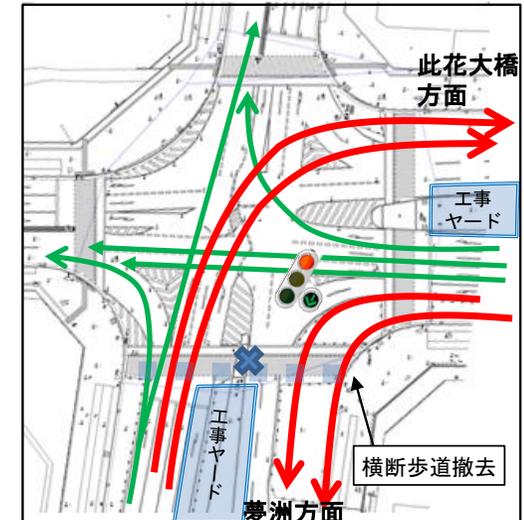
## ③ 阪神高速 湾岸舞洲出口 交通影響の想定 (R6.10時点)



阪神高速 湾岸舞洲出口 検討箇所



舞洲東交差点 信号改良  
現在、関係機関と協議中  
(令和6年1月実施を目指す)

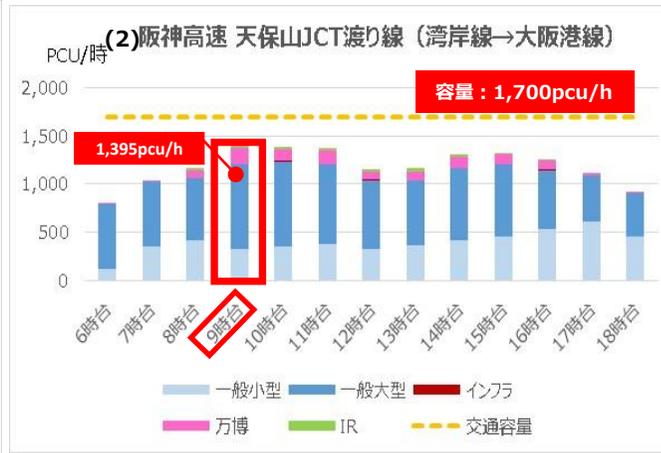
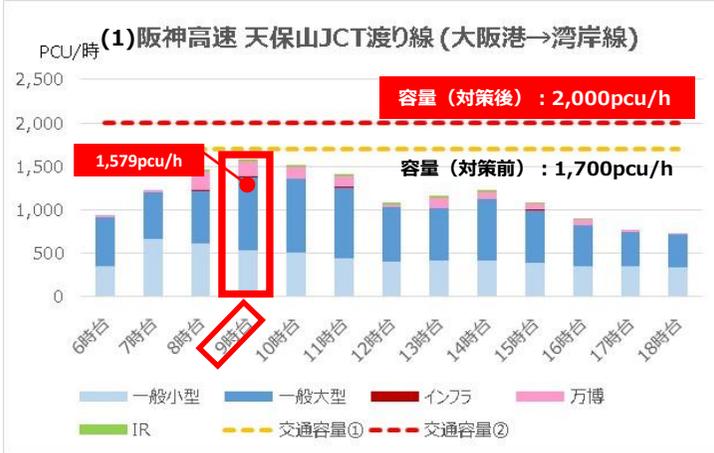


※ 湾岸舞洲出口を1車線から2車線に対策  
現在、関係機関と協議中 (テールヘビー前である令和6年6月完成を目指す)

## ④ 阪神高速 天保山JCT渡り線 交通影響の想定 (R6.10時点)

※    交通量の最も多い時間帯

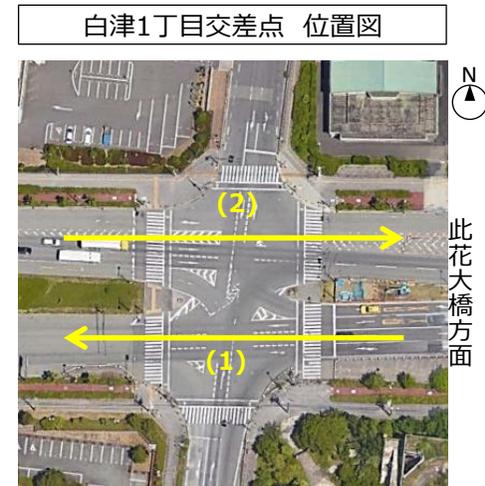
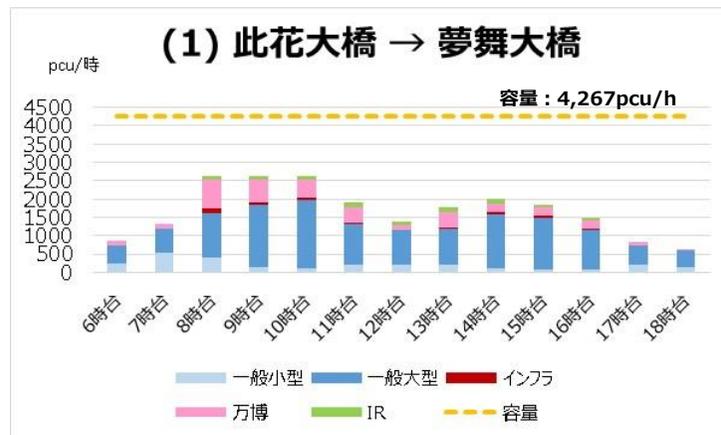
※工事車両の高速道路利用の50%が天保山JCT渡り線を利用と想定



※ 天保山JCT渡り線を1車線から2車線に対策  
現在、関係機関等と協議中 (テールヘビー前である令和6年6月完成を目指す)

※ 工事車両が天保山出口を利用し、一般道路を通行し夢洲へ向かうことはない

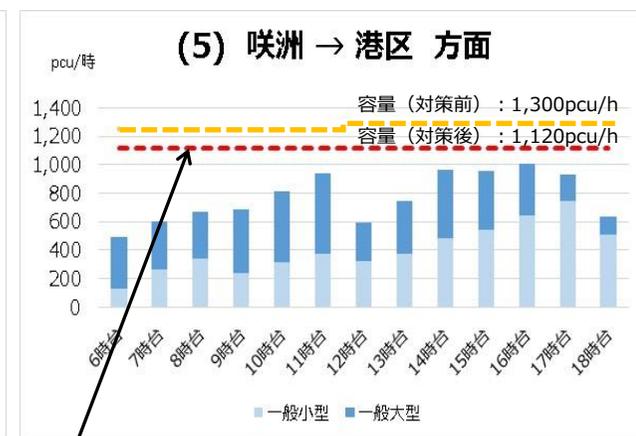
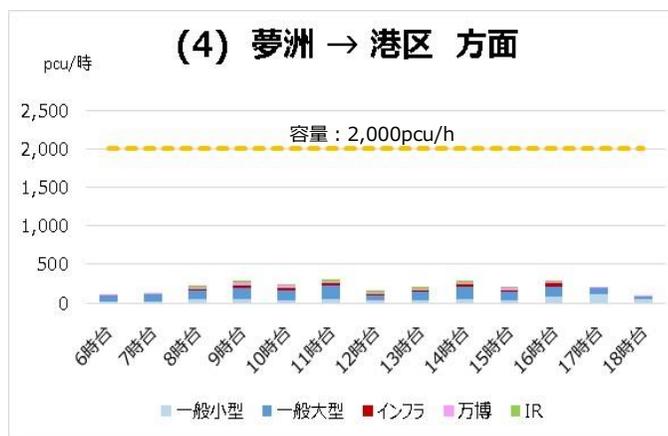
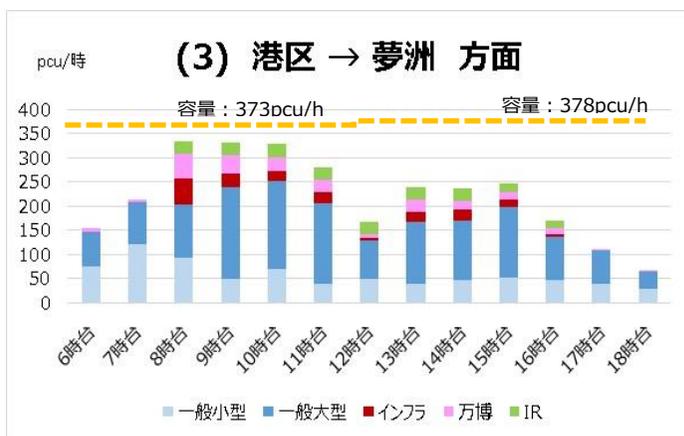
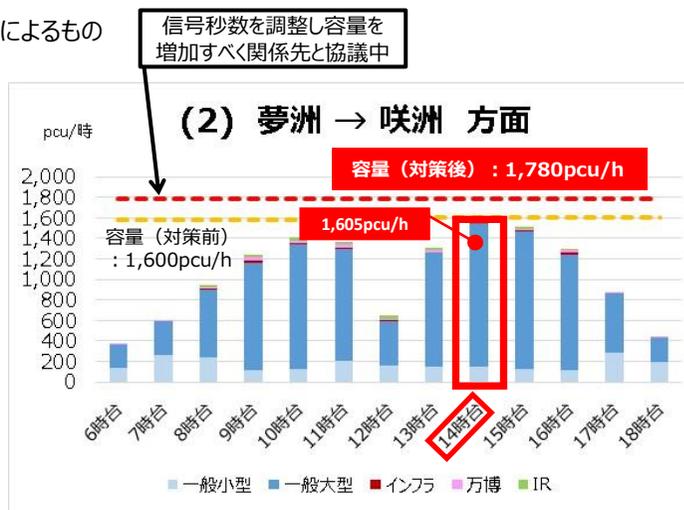
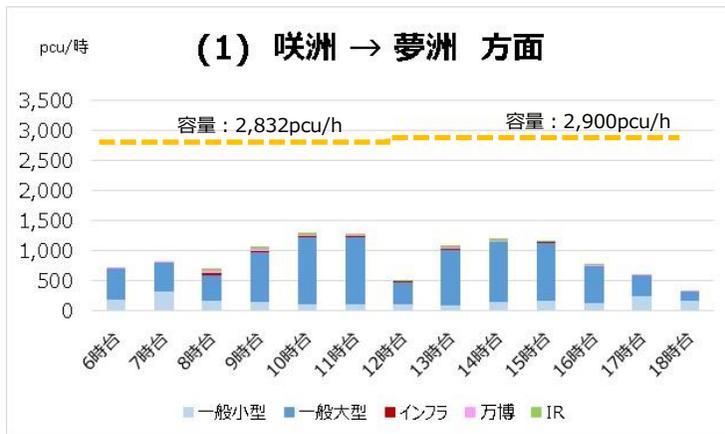
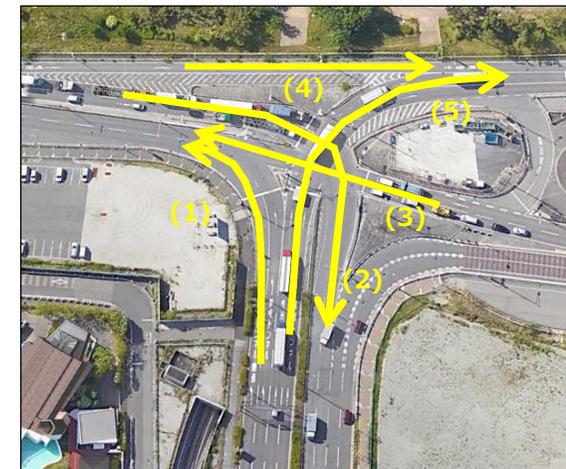
## ⑤ 白津1丁目交差点 交通影響の想定 (R6.10時点)



## ⑥ 咲洲トンネル西交差点 交通影響の想定 (R6.10時点) ※    交通量の最も多い時間帯

※ 咲洲トンネル西交差点の対策内容の詳細は4-12頁参照  
 グラフに示す交通容量の変化は、信号の青時間の秒数変化によるもの

咲洲トンネル西交差点 位置図



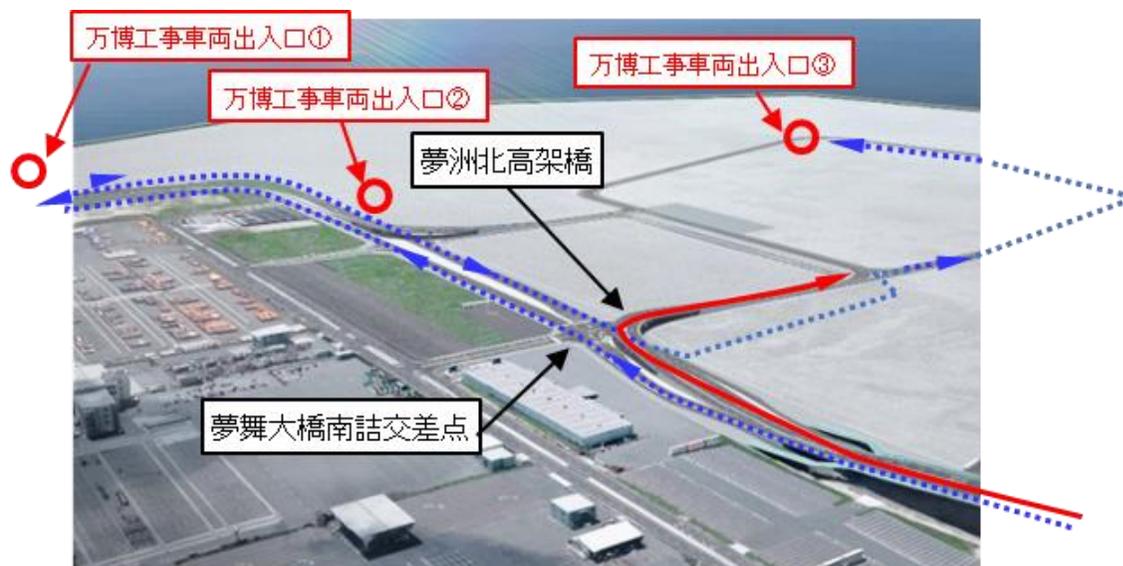
## ・（仮称）夢洲北高架橋整備の前倒し

対策内容：円滑な工事車両の通行を確保するための対策として、（仮称）夢洲北高架橋を早期完成させ、工事車両通行に活用。

実施時期：（仮称）夢洲北高架橋について、令和6年12月末完成予定から前倒して令和6年9月末に完成予定。



（仮称）夢洲北高架橋架設状況（令和5年9月現在）



北ルートからの工事車両動線

..... : 夢洲北高架橋 供用開始前の動線

———— : 夢洲北高架橋 供用開始後の動線

## ▶ 対策①：信号秒数の調整（咲洲トンネル西交差点）

### 【対策内容】

夢洲から咲洲方面に右折する工事車両等の交通容量を増やすため、咲洲トンネル西交差点の信号秒数を調整する。

### 【実施予定時期】

現在、関係機関と協議中（令和6年1月実施を目指す）

## ▶ 対策②：交差点改良（咲洲トンネル西交差点、ATC北交差点）

### 【対策内容】

- ・咲洲トンネル西交差点では、工事車両等の大型車両がより安全・円滑に右折できるよう、車線の幅員（一部）を拡げる。
- ・ATC北交差点では、右折車両の滞留で、直進する工事車両等の通行が阻害されないよう、右折車線の2車線化等を行う。

### 【完成予定時期】

- ・ATC北交差点：現在、関係機関と協議中（令和6年7月末完成を目指す）
- ・咲洲トンネル西交差点：現在、関係機関と協議中（令和6年8月末完成を目指す）

⇒ テールヘビー（R6.10）前までに対策完了を目指す



# 工事車両運行管理システムの本格運用について

・令和5年4月から本格運用

## 1. 概要

### ① ルート別、時間帯別上限台数の設定

### ② 工事車両の事前登録

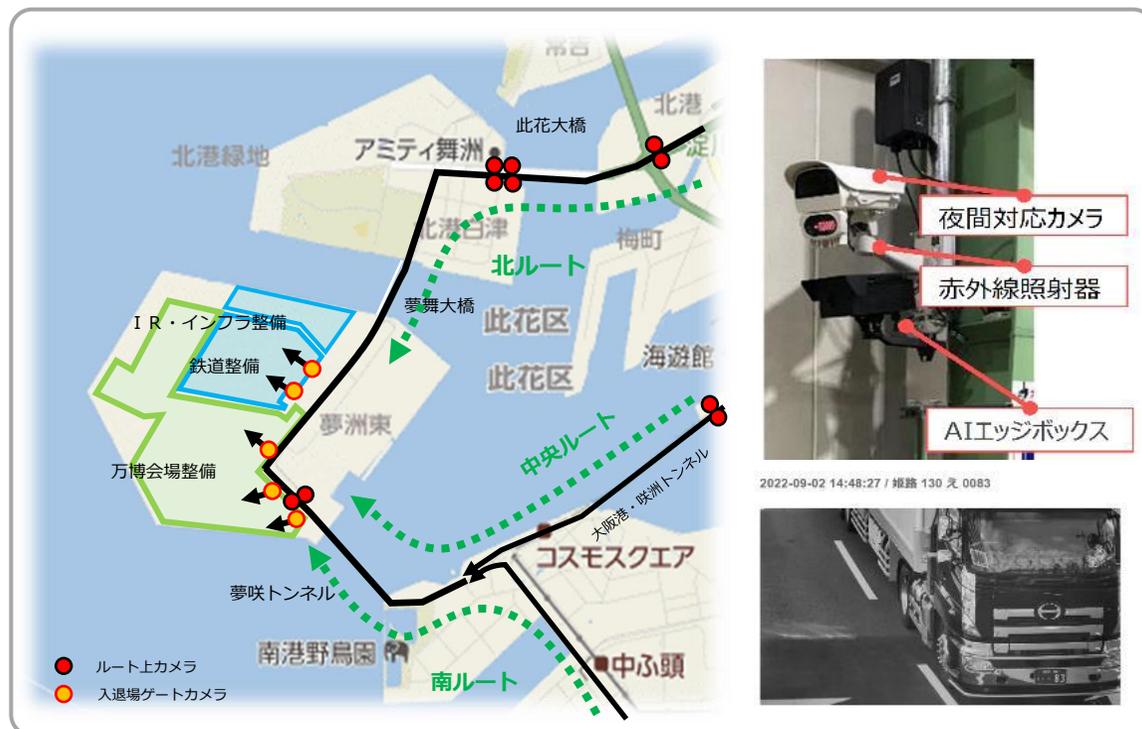
- ・前月10日までに概算の予定台数を入力(月次)し、その後、運行詳細と確定台数を入力を前週水曜日までに入力(週次)
- ・車両運行開始までに車番を入力

大阪 230  
と 12-34



### ③ 工事車両の運行確認と通行状況の把握

- ・道路等に設置したAIカメラ等で通行確認



## 2. 工事車両運行管理システムの適正な運用について

- ・工事車両運行管理システムによる工事車両管理を適正に行うには、全ての関連する事業者が、事前に予定車両情報(特に週次)を正しく入力することが重要となる。
- ・予定車両情報の入力を確実なものとするよう、引き続き正確な情報(時間、ルート、ゲート、車番)入力を徹底する。

